

テーマ

「問われる組織・職員の倫理と法令遵守」

～コンプライアンス(法令遵守)体制と意識改革～

1. 高まるコンプライアンス経営の重要性

- ①コンプライアンスにきちんと取り組んでいる企業はブランド価値が高くなるだけでなく、良い人材が多く職員（社員）のモラルも高い。
- ②不祥事は、企業が行政処分や刑事罰を受けるだけでなく、顧客や取引先から信頼を喪失して企業の存亡に関わるリスクとなる。
- ③企業の不祥事のほとんどは、内部告発から発覚します。企業内部の不満の高まりや、上司との人間関係、人材育成、不公平な取扱い等、内部告発の芽は急増しております。
管理者の役割認識と対応が大切である。

2. コンプライアンスとは何か

「コンプライアンス」とは、一般に「企業が企業活動を行うに際して関係法令等を厳格に遵守することをはじめ、社会的規範を全うする。」という意味で用いられています。コンプライアンスの元々の意味は「願望・要請・需要等にかなうこと」であり、その語源はラテン語の「完全」を意味する〈Complete〉に由来すると言われていています。その意味では、単純な「法令遵守」に限られるものではなく、法令自体には違反しなくても健全な社会的存在たるべき企業として、「してはならないこと」「するのが適切でないこと」「しない方がよいこと」を行わないとする、「企業倫理」に近い意味を含めて最近では用いられるようになっていています。

コンプライアンスの目的は、こうした違法行為等を事前に予防したり、未然に防止したりする仕組みを構築していくことで企業の業務運営の遵法性を高めていくことを通じて、経営の健全性を確保し社会全般からの信頼を確立していくことにあります。

すなわち、コンプライアンスでは、事件や不祥事等の違法行為等を起こさないという「結果」も重要ですが、それ以上に、そのような結果をもたらす意思決定や業務行動に至る「プロセス」が法令・定款等や社会的規範に逸脱しないような仕組み（態勢）になっているかがより重視され、問われることとなります。

①コンプライアンスの目的

- 1) 企業が法令等に違反することによって生ずる刑事罰・民事罰等から企業を守る
- 2) 企業の運営が法令等を遵守して行われることにより、経営の健全性・適正性を確保し、社会からの信頼を守る

②コンプライアンス＝「企業生存の命綱」

コンプライアンスなき企業は社会の一員として認知されず、致命的打撃を受けて倒産しても当然と考えられるに至っている

3. なぜコンプライアンスが必要か

①会社がコンプライアンスを重視する理由

不祥事の再発防止＝コンプライアンスといった側面ばかりが強調



コンプライアンスの本当の大切さは企業のリスクマネジメントの根幹にかかわる点にある

コンプライアンスの管理体制ができていない企業は、重大事件を引き起こすリスクが高く、当然、社会の評価も低くなる。そうすると資金調達、上場資格、株価、さらに人材の確保といった面で支障が生じ、取引先からも敬遠される。



企業として生き残る条件の一つとして、コンプライアンスに注目が集まる

②コンプライアンスとは具体的に何をするのか

- 1) 法律に代表される社会の規則をしっかりと守る組織にする
- 2) ミスや不祥事は必ず起きるという認識のもとに、できる限り逸脱行為の発生を防止し、問題をただちに是正する組織や仕組みを作る



「内部統制システムの構築※」という

※内部統制（Internal Control）とは

業務・財務・順法のリスクマネジメントと効率化を目的とした組織内部の管理システムのこと

- ・業務を有効的にかつ効率的に遂行すること
- ・財務報告書の内容を信頼性の高いものにすること
- ・法令を順守すること

4. 社会の変化を知る ～経営のリスク管理～

①企業不祥事の多発

企業の不祥事に厳しい社会の批判が集まる事件が続いている。批判された企業は、市場や消費者のボイコットによって業績を悪化させ、事業の一部売却や人員整理などの厳しい処置を迫られ、廃業を余儀なくされたケースもある。一部の人間の軽率な判断や行動から、多くの会社員と家族が生活の不安にさらされた。

②企業倫理やコンプライアンスへの取り組み姿勢に応じて企業を評価・選別する新しい動きが急速に広まる

欧米では企業倫理やコンプライアンスの取り組みが不十分な企業は将来のリスクが高く、投資先や取引先として適当でない、という考え方が強い影響力を持つようになった。日本企業も大企業を中心に、管理体制の強化を進めている。最近、新聞やテレビで見聞するコーポレート・ガバナンス※1 やCSR※2 と呼ばれる考え方もそうした動きを加速させている要因のひとつ。

※1 **コーポレート・ガバナンス（企業統治）** …①業務執行の暴走を牽制する経営機構、②正確な会計、効率的な業務、及び法令の順守を保証する経営管理システム、③透明でタイムリーな情報公開など、経営の公正さを高める制度や活動の総称。

※2 **CSR（企業の社会的責任）** …次世代を含めた地球規模での持続可能な発展を実現するため、経済・環境・社会の各分野で企業が果たすべき役割に対し、企業が自発的に取り組んで社会に新しい方法や価値を提供すること、また社会全体が連携してそうした企業の活動を促進・支援すること。

③年功序列や終身雇用が崩れ、解雇や転職などが増えている企業では、機密情報の持ち出しや報復的な内部告発など、これまでにあまりみられなかった経営リスクが表面化してきた

5. 職員としての基本姿勢 ～ホウ・レン・ソウの重要性～

「大丈夫です、やっています」という部下や後輩の言葉を信じて事態が手遅れになってしまった状況を想像してください。みなさんは、わからなければいいいに聞いてほしい、と思うのではないのでしょうか。コンプライアンスは失敗や見落としが許されませんので、そうした報告・連絡・相談が特に重要な意味を持ちます。